

# 1 しなぎょとびばい ちゅりーごめん

## 3章 みじかい 文を よむ

### 標準クラス

時間	10分
得点	/100
答え	14
ページ	ページ

1 上の 文と 下の 文を、——で つなぎなさい。

—つ5(30点)

- |                  |                |                 |                            |                             |               |
|------------------|----------------|-----------------|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| (6)              | (5)            | (4)             | (3)                        | (2)                         | (1)           |
| おなかが<br>いたい。     | 花の たねを<br>まいた。 | ともだちと<br>けんかした。 | 校 <sup>こう</sup> で<br>ころんだ。 | プールで<br>およいだ。               | ごはんが<br>すんだ。  |
| カ                | オ              | エ               | ウ                          | イ                           | ア             |
| あやまった。<br>つぎの 日、 | たべすぎたか<br>らだ。  | たのしかった。         | おさらを<br>あらった。              | 小さな<br>めが 出 <sup>で</sup> た。 | ひざを<br>すりむいた。 |

### 2

中<sup>なか</sup>から えらんで かきなさい。  の

—つ5(25点)

- |                      |           |                         |           |         |
|----------------------|-----------|-------------------------|-----------|---------|
| (1)                  | (2)       | (3)                     | (4)       | (5)     |
| 雨 <sup>あめ</sup> が ふれ | あるき       | かぜが ふく                  | しゆくだいが ある | いくら きい  |
| 、しあいはない。             | 、うたを うたう。 | 、木の <sup>こ</sup> はが ちる。 | 、あそびに     | 、わからない。 |

と・ば・ても・のに・ながら



**3**

○をつなぎことばのつけなさい。  
つかいかたが正しいほうに、  
一つ5(20点)

(1) **イ** ( ) あつかった。  
でも、うわぎをぬいだ。  
**ア** ( ) あつかった。

(2) **イ** ( ) 本ほんやにいった。  
でも、まだあいていなかった。  
**ア** ( ) 本ほんやにいった。  
だから、まだあいていなかった。

(3) **イ** ( ) のどがかわいた。  
でも、水みずをのんだ。  
**ア** ( ) のどがかわいた。  
だから、水みずをのんだ。

(4) **イ** ( ) いえにかえた。  
でも、かぎがかかっていた。  
**ア** ( ) いえにかえた。  
だから、かぎがかかっていた。



**4**

つぎの ( ) にあうことばをあとからえらんで、きごうをかきなさい。  
一つ5(25点)

(1) 手てがみをもらった。( )、へんじをかいた。

**ア** でも **イ** それで **ウ** または

(2) あわててでんわに出でようとしました。( )、

すぐにきれてしまった。  
**ア** それとも **イ** だから **ウ** しかし

(3) 雨あめがふってきた。( )、かみなりもなかった。  
**ア** そのうえ **イ** つまり **ウ** だから

(4) はいしやにいった。( )、虫むしばになったから。  
**ア** または **イ** なぜなら **ウ** ただし

(5) こうえんにいこうか。( )、プールにいかうか。  
**ア** ところが **イ** それで **ウ** それとも

1 《れい》に ならって、①・②の 中なかから 一つひとつずつ えらんで、正しい 文ぶんを つくりなさい。

完答一つ6(12点)

《れい》 ともだちと けんかを すると、

(1) ともだちと けんかを したけど、

(2) ともだちと けんかを したので、

ア すぐ なかなかおりが できたので、

① イ おかあさんに おこられるので、

ウ じぶんから あやまりに いかうかと

ア まよった。

② イ よかった。

ウ いやだ。

		《れい》	
(2)	(1)		
↓	↓	↓	①
( )	( )	イ	
↓	↓	↓	②
( )	( )	ウ	



## 2

つぎの つなぎことばと おなじような はたらきを する ものを、  
えらんで かきなさい。

一つ4(32点)

(1) だから

(2) でも

(3) あるいは

(4) そのうえ

[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

しかし・しかも・したがって・または  
すると・それとも・さらに・ところが

3

つぎの 文を、つなぎことばを つかって 二つ  
の 文に わけて かきなさい。 一つ6(36点)

(1) 雨が ふって きたので、まどを しめた。

ア

イ

(2) わたしは あやまったのに、おにいちゃんは

ゆるして くれなかった。

ア

イ

(3) ドアを あけると、おかあさんが 立って

た。

ア

イ

4

つぎの 二つの 文を、つなぎことばを つかっ  
て 一つの 文に しなさい。 一つ10(20点)

(1) おかあさんに 「しゅくだいを しなさい。」と

(1)

いわれた。  
夕ごはんの まえに おわらせた。

(2)

天気よほうでは はれたと 言って いた。  
とつぜん 雨が ふって きた。



時間	15分
得点	/100
答え	15
ページ	

1 つぎの 文<sup>ぶん</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>を よ<sup>よ</sup>ん<sup>ん</sup>で、 も<sup>も</sup>ん<sup>ん</sup>だ<sup>だ</sup>い<sup>い</sup>に こ<sup>こ</sup>た<sup>た</sup>え<sup>え</sup>な<sup>な</sup>さ<sup>さ</sup>い。

ぼくは いくみくんの いえに いく とちゅうで、<sup>おお</sup>大きな もんが ある いえの まえを とおりました。すると、もんの うしろに 犬<sup>いぬ</sup>が いました。<sup>①</sup>小さくて やせた 犬<sup>いぬ</sup>でしたが、とても <sup>おお</sup>大きな こえて ワンワンと ほえはじめました。<sup>②</sup>ぼくは 犬<sup>いぬ</sup>が すきです。だから、こわくありませんでした。でも、犬<sup>いぬ</sup>に ちかづくのを やめました。  
、犬<sup>いぬ</sup>が おこって いるみたいだったからです。<sup>③</sup>ぼくは 犬<sup>いぬ</sup>に 手<sup>て</sup>を ふ<sup>ふ</sup>つて、 そつと その ばを 立<sup>た</sup>ちさ<sup>さ</sup>りました。



- (1)  せん<sup>せん</sup>①の 文<sup>ぶん</sup>を、 つなぎことばを つかつて 二<sup>ふた</sup>つの 文<sup>ぶん</sup>に わけて かきなさい。 (15点)
- (2)  せん<sup>せん</sup>②の 二<sup>ふた</sup>つの 文<sup>ぶん</sup>を、 つなぎことばを つかつて 一<sup>ひと</sup>つの 文<sup>ぶん</sup>に しなさい。 (15点)
- (3)  に あう つなぎことばを 一<sup>ひと</sup>つ えらん で ○を つけなさい。 (10点)
- ア ( ) だから イ ( ) なぜなら  
 ウ ( ) でも
- (4)  せん<sup>せん</sup>③の 文<sup>ぶん</sup>を 二<sup>ふた</sup>つの 文<sup>ぶん</sup>に わけて くと、 つなぎことばは どれを つかいますか。 一<sup>ひと</sup>つ えらんで ○を つけなさい。 (10点)
- ア ( ) しかし イ ( ) それとも  
 ウ ( ) そして

2

つぎの 文(ぶん)し(し)ょう(しょう)を よ(よ)ん(ん)で、 も(も)ん(ん)だ(だ)い(い)に こ(こ)た(た)え(え)な(な)さ(さ)い。

夕(ゆう)ご(ご)は(は)ん(ん)の あと、 わ(わ)た(た)し(し)は お(お)ね(ね)え(え)ち(ち)ゃ(ゃ)ん(ん)と  
ゲ(ゲ)ー(ー)ム(ム)き(き)で あ(あ)そ(そ)び(び)ま(ま)し(し)た(た)。一(いっ)か(か)い(い)ず(ず)つ こ(こ)う(う)た  
い(い)で あ(あ)そ(そ)ぶ(ぶ) こ(こ)に し(し)ま(ま)し(し)た(た)。①、お(お)ね(ね)  
え(え)ち(ち)ゃ(ゃ)ん(ん)は い(い)つ(つ)ま(ま)で た(た)っ(っ)て(て)も、 わ(わ)た(た)し(し)に  
じ(じ)ゆ(ゆ)ん(ん)ば(ば)ん(ん)を か(か)わ(わ)っ(っ)て(て)は く(く)れ(れ)ま(ま)せ(せ)ん(ん)で(で)し(し)た(た)。  
②、べ(べ)つ(つ)の ゲ(ゲ)ー(ー)ム(ム)を は(は)じ(じ)め(め)て し(し)ま(ま)っ(っ)た  
の(の)です。

わ(わ)た(た)し(し)が 「ず(ず)る(る)い。」と さ(さ)け(け)ん(ん)だ(だ) と(と)き(き)、お(お)  
と(と)う(う)さ(さ)ん(ん)が か(か)え(え)っ(っ)て(て) き(き)ま(ま)し(し)た(た)。③ わ(わ)た(た)し(し)た(た)ち(ち)は  
け(け)ん(ん)か(か)を し(し)て い(い)た(た)の(の)で、お(お)と(と)う(う)さ(さ)ん(ん)に ゲ(ゲ)  
ー(ー)ム(ム)き(き)を と(と)り(り)あ(あ)げ(げ)ら(ら)れ(れ)て し(し)ま(ま)い(い)ま(ま)し(し)た(た)。

わ(わ)た(た)し(し)た(た)ち(ち)は し(し)ば(ば)ら(ら)く お(お)ち(ち)  
こ(こ)ん(ん)で い(い)ま(ま)し(し)た(た)。④、お(お)と(と)  
う(う)さ(さ)ん(ん)の ひ(ひ)や(や)か(か)ら ゲ(ゲ)ー(ー)ム(ム)き(き)の  
音(おと)が き(き)こ(こ)え(え)て き(き)ま(ま)し(し)た(た)。



15

10

5

(1) ① に あ(あ)う つ(つ)な(な)ぎ(ぎ)こ(こ)と(と)ば(ば)を か(か)ん(ん)が(が)え(え)て  
か(か)き(き)な(な)さ(さ)い。(15点)

(2) ② に あ(あ)う つ(つ)な(な)ぎ(ぎ)こ(こ)と(と)ば(ば)を 一(ひと)つ え(え)ら(ら)ん  
で ○(まる)を つ(つ)け(け)な(な)さ(さ)い。(10点)

ア ( ) それ(れ)と(と)も イ ( ) だ(だ)も(も)  
ウ ( ) し(し)か(か)も

(3) ③ の 文(ぶん)を、 つ(つ)な(な)ぎ(ぎ)こ(こ)と(と)ば(ば)を つ(つ)か(か)っ(っ)て  
二(ふた)つ(つ)の 文(ぶん)に わ(わ)け(け)て か(か)き(き)な(な)さ(さ)い。(完答(15点))

(4) ④ に あ(あ)う つ(つ)な(な)ぎ(ぎ)こ(こ)と(と)ば(ば)を か(か)ん(ん)が(が)え(え)て、  
ひ(ひ)ら(ら)が(が)な 三(さん)字(じ)で か(か)き(き)な(な)さ(さ)い。(10点)

Blank box for writing answers.

1 つなぎことばに ちゅういじょう

標準クリス

48～49ページ

- 1 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)カ (5)イ (6)オ  
 2 (1)ば (2)ながら (3)と (4)のに (5)ても  
 3 (1)イ (2)ア (3)イ (4)ア  
 4 (1)イ (2)ウ (3)ア (4)イ (5)ウ

考え方

1 文のつながりを確認する問題です。

2 つなぎ言葉には、「だから」などの接続詞と、「のに」などの接続助詞があります。ここは接続助詞をあてはめる問題です。(3)「風が吹く。すると、木の葉が散る。」のように、空欄の前後のつながりを考えましょう。

3 順接と逆接の違いをおさえる問題です。順接とは、前の事柄を受けて、その順当な結果があとにくること、接続詞は「だから」「それで」「すると」「そこで」などを使います。逆接とは、前の事柄と反対の事柄があとにくること、接続詞は「でも」「けれども」「しかし」「だが」「ところが」などを使います。

4 正しいつなぎ言葉を選ぶ問題です。(1)は、「手がみを もらった」という事柄を受けて「へんじを かいだ」ので、順接の「それで」が入ります。(2)は、「あわてて でんわに 出ようと した」と「すぐに できて しまった」が反する事柄なので、逆接の「しかし」が入ります。(3)「そのうえ」は、前の事柄にあとの事柄をつけ加える並立・累加のつなぎ言葉です。(4)「なぜなら」は、前の事柄に説明をつけ加える説明のつなぎ言葉です。(5)「それとも」は、どちらかを選ぶときに使う対比・選択のつなぎ言葉です。

ハイクリス

50～51ページ

- 1 (1)ア・イ (2)ウ・ア  
 2 (1)したがって・すると (2)しかし・ところが  
 3 (3)または・それとも (4)しかも・さらに  
 1 ア雨が ふって きた。  
 イ例だから、まどを しめた。  
 2 アわたしは あやまった。  
 イ例でも、おにいちゃんは ゆるして くれなかった。  
 3 アドアを あげた。  
 イ例すると、おかあさんが 立って いた。  
 4 (1)例おかあさんに 「しゅくだいを しなさい。」と いわれたので、  
 タごほんの まえに おわらせた。  
 (2)例天気よほうでは はれだと いって いたのに、とつぜん 雨が  
 ふって きた。

考え方

1 接続助詞が使われた文を正しく並べ換える問題です。

2 つなぎ言葉の種類と働きを理解する問題です。(1)は順接、(2)は逆接、(3)は対比・選択、(4)は並立・累加のつなぎ言葉です。

3 接続助詞が使われた文を、接続詞を使って二文に分ける問題です。(1)は順接、(2)は逆接、(3)は順接のつなぎ言葉を使います。ただし(3)は、前の事柄があとの事柄の原因・理由になっているわけではないので、「だから」「それで」などは使えません。

4 二つの文を、接続助詞を使って一文にする問題です。(1)は順接のつなぎ言葉、(2)は逆接のつなぎ言葉を使います。

2

標準クリス

1 (1)例 小さくて やせた 犬でした。でも、とても 大きな こえて  
ワンワンと ほえはじめました。

(2)例 ぼくは 犬が すきなので、こわく ありませんでした。

(3)イ

(4)ウ

2 (1)例 それなのに(でも・ところが)

(2)ウ

(3)例 わたしたちは けんかを して いました。だから、おとうさんに  
ゲームきを とりあげられて しまいました。

(4)すると

考え方

1 (1) 「が」は逆接を表すので、「でも」などを使います。

(2) 「ぼくは 犬が すきです」という事柄が理由になって、「こわく  
ありませんでした」という事柄が続くので、順接の接続助詞を使いま  
す。

(3) 犬に近づくのをやめた理由が、あとの文に書かれています。文末の  
「くからです」にも着目しましょう。

(4) 「て」は、前の事柄とあとの事柄をつなぐ接続助詞です。

2 (1) 「一かかずつ こうたいで あそぶ ことに しました」という事  
柄と、「いつまで たったも、わたしに じゅんばんを かわっては  
くれませんでした」という事柄は、反対の内容です。

(2) 順番をかわってくれなかったという事柄に、別のゲームを始めた  
という事柄をつけ加えているので、並立・累加のつなぎ言葉があてはま  
ります。

(3) 「ので」は順接を表すので、「だから」などを使います。

(4) 前の事柄に続いて意外な事柄が起きた場合、「すると」が入ります。

1 (1)あそこ (2)そっち (3)この・どれ (4)これ・どこ

2 (1)それ (2)あの (3)どこ (4)こちら

3 (1)この (2)それ (3)どこ (4)どっち

4 (1)イ (2)ア (3)ウ (4)イ

考え方

1 このあと言葉を探す問題です。こそあど言葉とは、物事を指し示す働きを  
もつ言葉のことです。「こ」「そ」「あ」「ど」で始まる言葉に着目しましょう。

2 このあと言葉の表を完成させる問題です。一段目は「こ」、二段目は  
「そ」、三段目は「あ」、四段目は「ど」で始まる言葉になっています。ま  
た、縦の列は、語尾がそれぞれ「れ」「の」「こ」「ちら」になっています。  
(1)は二段目なので「そ」で始まり、縦の列の語尾に合わせて「れ」で終わ  
るので、「それ」となります。(2)～(4)も、同様に考えましょう。

3 正しいこそあど言葉を選ぶ問題です。(1)は「ぼくが いま かぶって  
いる」とあるので、自分に近いものを指すときに使う「この」を、(2)は「き  
みが もって いる」とあるので、相手に近いものを指すときに使う「そ  
れ」を選びます。(3)は、はっきりしない場所を指すときに使う「どこ」を、  
(4)は、「右と 左」を指して、そのどちらでもよいということなので、「ど  
っち」を選びます。

4 このあと言葉が指している内容をとらえる問題です。(1)・(4)「ここ」「そ  
こ」は、それぞれ「ものを食べる場所」、「ボールを投げる場所」としての  
「場所」を指しています。(2)「それ」は、「さくらの 木」という「もの」  
を指しています。「これ・それ・あれ・どれ」は、ものを指し示すこそあど  
言葉です。(3)は、「あちらの方向に見えるのが富士山です」という意味なの  
で、方向を指しています。「あっち」なども方向を指し示します。